

1. 件 名「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川2号機（168）、東海第二（60）、柏崎刈羽6, 7号機（460）、浜岡4号機（174）、島根2号機（181）」

2. 日 時：平成28年10月17日 13時30分～15時20分

3. 場 所：原子力規制庁 13階 B会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

川崎課長補佐、秋本安全審査官、池田安全審査官、小林（貴）安全審査官、竹田安全審査官、近田安全審査官、沼田安全審査官、宇田川原子力規制専門職、関根技術研究調査官、森田技術研究調査官、糸賀原子力規制専門員、卜部原子力規制専門員

（安全技術管理官（シビアアクシデント）付）

堀田首席技術研究調査官

（安全技術管理官（システム安全）付）

越智安全審査官、工藤技術研究調査官

事業者：

東北電力株式会社：火力原子力本部 原子力部 副部長 他5名

日本原子力発電株式会社：発電管理室 技術・安全グループマネージャー 他4名

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 原子炉安全技術グループマネージャー 他4名

中部電力株式会社：原子力本部 原子力部 安全技術グループ長（部長） 他4名

中国電力株式会社：電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他4名

電源開発株式会社：炉心・安全室 安全技術タスク 担当

北陸電力株式会社：原子力本部原子力部 原子力安全評価チーム主任

メーカー：

日立GEニュークリア・エナジー株式会社：原子力計画部 原子炉計画グループ 主任技師 他3名

株式会社東芝：原子力安全システム設計部 安全システム技術第一担当 主務 他5名

グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン：炉心設計部 スペシャリスト

5. 要旨

(1) 東北電力株式会社、日本原子力発電株式会社、東京電力ホールディングス株式会社、中部電力株式会社及び中国電力株式会社（以下「BWR5社」という。）から、重大事故等対策の有効性評価に係るシビアアクシデントの参考解析用のコードとして、JASMINECコード、LS-DYNAコード、AUTODYNコードについて説明があり、原子力規制庁から、以下の点について指摘を行った。また、炉心損傷前の重大事故対策等の有効性評価に用いるSCATコードについて説明があった。

(JASMINECコード)

- ウォーターハンマー実験（水撃実験装置）の試験条件及び試験結果について、実機への適用性を踏まえて説明すること。

(2) BWR5社より、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ 重大事故等対策の有効性評価に係るシビアアクシデント解析コードについて
- ・ 解析コード(JASMINEC)説明資料(参考資料)
- ・ 解析コード(LS-DYNA)説明資料(参考資料)
- ・ 解析コード(AUTODYN)説明資料(参考資料)